

観点		1年			2年		3年			評価基準							
		正の数・負の数	文字を用いた式	一元一次方程式	文字を用いた式の四則計算	連立二元一次方程式	平方根	式の展開と因数分解	二次方程式	1	2	3	4	5			
現学習指導要録の観点	問題解決過程に着目した観点																
数学への関心・意欲・態度	数学観		数学的な事象に関心をもつとともに、数学的活動の楽しさ、数学的見方や考え方のよさを知り、それらを事象の考察に進んで活用しようとする。	○	○				○	○	○	数や文字式、方程式に関心が低く、苦手意識を克服できない状態である。	数や文字式、方程式に関心はあるが、継続して意欲的に活動できない。	数や文字式、方程式に関心をもち、意欲的に活動できる。	数や文字式、方程式について高い関心をもち、数学的活動の楽しさやよさを知っている。	数や文字式、方程式について高い関心をもち、数学的活動の楽しさやよさを知り、意欲的に問題の解決に活用している。	
数学的な見方・考え方	方法知	数学化	事象に潜む関係や法則を見出し、単純化や理想化などの定式化を施し、数学を使いやすい場面に移す。						○								
		数学的推論	定式化されたものを見通しをもち、数学的な推論の方法を用いて論理的に考察し、結果を振り返りその有効性を検討する。						○	○	○	○	事象に潜む数量を抽出することができるが、関係を図や言葉の式で捉えることができない。	事象から必要な情報を抽出することができ、関係や法則を図や言葉の式、数式などで簡潔かつ一般的に表現することができる。	事象の中の関係や法則を図や言葉の式、数式などで簡潔かつ一般的に表現でき、目的に応じて式変形することができる。	事象の中の関係や法則を図や言葉の式、数式などで簡潔かつ一般的に表現でき、目的に応じて式変形し、解を求めたり、数や図形の性質を考察したりすることができる。	事象の中の関係や法則を図や言葉の式、数式などで簡潔かつ一般的に表現でき、目的に応じて式変形し、解を求めたり、数や図形の性質を考察したりした結果の妥当性を説明できる。
		コミュニケーション	数理的な事象を、図、表、数、式、また言葉など多様な表現・表記を活用して表現する。また、解決の理由や探究の仕方を数学的な表現を用いて述べる。						○	○	○	○					
数学的な表現・処理	内容知	数学的な表現・処理などの技能(手続き的知識)	数の計算、目的に応じた式の変形や方程式の解を求めることができる。	○	○	○	○	○	○	○	○	式を計算したり、方程式を解いたりしたとき、正答率が55%未満である。	55%以上の正答率で、計算したり、方程式を解いたりすることができる	65%以上の正答率で、計算したり、方程式を解いたりすることができる	75%以上の正答率で、計算したり、方程式を解いたりすることができる	85%以上の正答率で、能率的に計算したり、方程式を解いたりすることができる	
数量・図形などについての知識・理解		数学的な概念(宣言的知識)	数量や式に関する基礎的な概念や原理・法則などについて理解し、知識を身につけている。	○	○	○	○	○	○	○	○	数量や式に関する基礎的な概念や原理・法則などについて理解し、知識を身につけていない。	55%程度以上数量や式に関する基礎的な概念や原理・法則などについて理解し、知識を身につけている。	65%程度以上数量や式に関する基礎的な概念や原理・法則などについて理解し、知識を身につけている。	75%程度以上数量や式に関する基礎的な概念や原理・法則などについて理解し、知識を身につけている。	85%程度以上数量や式に関する基礎的な概念や原理・法則などについて理解し、知識を身につけている。	

資料 中学校数学科の一般的ルーブリック(出典:神原一之氏作成)

観点			1年	2年	3年	評価基準							
			平面図計	空間図形	図形の基本性質	図形の合同	図形の相似	三平方の定理	1	2	3	4	5
現学習指導要録の観点	問題解決過程に着目した観点												
数学への関心・意欲・態度	数学観		○	○	○	○			図形の性質や計量に関心が低く、苦手意識を克服できない状態である。	図形の性質や計量に関心はあるが、継続して意欲的に活動できない。	図形の性質や計量に関心をもち、意欲的に活動できる。	図形の性質や計量について高い関心をもち、数学的活動の楽しさやよさを知っている。	図形の性質や計量について高い関心をもち、数学的活動の楽しさやよさを知り、意欲的に問題の解決に活用している。
数学的な見方・考え方	方法知	数学化	○	○	○	○			図形の性質を見出すことができない。	図形の性質を見出すことができるが、論理的な考察はできない。	図形の性質を見出し、見通しをもち、論理的に考察できる。	図形の性質を見出し、見通しをもち、数学的推論の方法を用いて、論理的に考察したことを的確に伝えることができる。	図形の性質を見出し、見通しをもち、数学的推論の方法を用いて、論理的に考察したことを的確に伝えることができる。
		数学的推論	○	○	○	○	○						
		コミュニケーション	○	○	○	○	○						
数学的な表現・処理	内容知	数学的な表現・処理などの技能(手続き的知識)	○	○	○	○	○	計算したり、数学的な用語、記号を用いて簡潔に表現したりするとき、正答率が55%未満である。	55%以上の正答率で、計算したり、数学的な用語、記号を用いて簡潔に表現したりすることができる	65%以上の正答率で、計算したり、数学的な用語、記号を用いて簡潔に表現したりすることができる	75%以上の正答率で、計算したり、数学的な用語、記号を用いて簡潔に表現したりすることができる	85%以上の正答率で、能率的に計算したり、数学的な用語、記号を用いて簡潔に表現したりすることができる	
数量・図形などについての知識・理解		数学的な概念(宣言的知識)	○	○	○	○		数量や式に関する基礎的な概念や原理・法則などについて55%程度未満しか理解されていない。	55%程度以上数量や式に関する基礎的な概念や原理・法則などについて理解し、知識を身につけている。	65%程度以上数量や式に関する基礎的な概念や原理・法則などについて理解し、知識を身につけている。	75%程度以上数量や式に関する基礎的な概念や原理・法則などについて理解し、知識を身につけている。	85%程度以上数量や式に関する基礎的な概念や原理・法則などについて理解し、知識を身につけている。	

観点		1年	2年	3年	評価基準						
現学習指導要録の観点	問題解決過程に着目した観点		比例・反比例	一次関数	二乗に比例する関数	1	2	3	4	5	
数学への関心・意欲・態度	数学観	数学的な事象に関心をもつとともに、数学的活動の楽しさ、数学的見方や考え方のよさを知り、それらを事象の考察に進んで活用しようとする。	○		○	数や文字式、方程式に関心が低く、苦手意識を克服できない状態である。	数や文字式、方程式に関心はあるが、継続して意欲的に活動できない。	数や文字式、方程式に関心をもち、意欲的に活動できる。	数や文字式、方程式について高い関心をもち、数学的活動の楽しさやよさを知っている。	数や文字式、方程式について高い関心をもち、数学的活動の楽しさやよさを知り、意欲的に問題の解決に活用している。	
数学的な見方・考え方	方法知	数学化	事象に潜む関係や法則を見出し、単純化や理想化などの定式化を施し、数学を使いやすい場面に移す。				事象に潜む数量を抽出することができるが、関係を図や言葉の式で捉えることができない。	事象から必要な情報を抽出することができ、関係や法則を図や言葉の式、数式などで簡潔かつ一般的に表現することができる。	事象の中の関係や法則を図や言葉の式、数式などで簡潔かつ一般的に表現でき、目的に応じて式変形することができる。	事象の中の関係や法則を図や言葉の式、数式などで簡潔かつ一般的に表現でき、目的に応じて式変形し、解を求めたり、数や図形の性質を考察したりすることができる。	事象の中の関係や法則を図や言葉の式、数式などで簡潔かつ一般的に表現でき、目的に応じて式変形し、解を求めたり、数や図形の性質を考察したりした結果の妥当性を説明できる。
		数学的推論	定式化されたものを見通しをもち、数学的な推論の方法を用いて論理的に考察し、結果を振り返りその有効さを検討する。								
		コミュニケーション	数理的な事象を、図、表、数、式、また言葉など多様な表現・表記を活用して表現する。また、解決の理由や探究の仕方を数学的な表現を用いて述べる。		○	○					
数学的な表現・処理	内容知	数学的な表現・処理などの技能(手続き的知識)	数の計算、目的に応じた式の変形や方程式の解を求めることができる。	○	○	○	式を計算したり、方程式を解いたりしたとき、正答率が55%未満である。	55%以上の正答率で、計算したり、方程式を解いたりすることができる	65%以上の正答率で、計算したり、方程式を解いたりすることができる	75%以上の正答率で、計算したり、方程式を解いたりすることができる	85%以上の正答率で、能率的に計算したり、方程式を解いたりすることができる
数量・図形などについての知識・理解		数学的な概念(宣言的知識)	数量や式に関する基礎的な概念や原理・法則などについて理解し、知識を身につけている。	○		○	数量や式に関する基礎的な概念や原理・法則などについて55%程度未満しか理解されていない。	55%程度以上数量や式に関する基礎的な概念や原理・法則などについて理解し、知識を身につけている。	65%程度以上数量や式に関する基礎的な概念や原理・法則などについて理解し、知識を身につけている。	75%程度以上数量や式に関する基礎的な概念や原理・法則などについて理解し、知識を身につけている。	85%程度以上数量や式に関する基礎的な概念や原理・法則などについて理解し、知識を身につけている。

観点			1年	2年	3年	評価基準				
現学習指導要録の観点	問題解決過程に着目した観点		資料の ちらばり と代表値	確率	標本調査	1	2	3	4	5
数学への関心・意欲・態度	数学観		○		○	数や文字式、方程式に関心が低く、苦手意識を克服できない状態である。	数や文字式、方程式に関心はあるが、継続して意欲的に活動できない。	数や文字式、方程式に関心をもち、意欲的に活動できる。	数や文字式、方程式について高い関心をもち、数学的活動の楽しさやよさを知っている。	数や文字式、方程式について高い関心をもち、数学的活動の楽しさやよさを知り、意欲的に問題の解決に活用している。
数学的な見方・考え方	方法知	数学化				事象に潜む数量を抽出することができるが、関係を図や言葉の式で捉えることができない。	事象から必要な情報を抽出することができ、関係や法則を図や言葉の式、数式などで簡潔かつ一般的に表現することができる。	事象の中の関係や法則を図や言葉の式、数式などで簡潔かつ一般的に表現でき、目的に応じて式変形することができる。	事象の中の関係や法則を図や言葉の式、数式などで簡潔かつ一般的に表現でき、目的に応じて式変形し、解を求めたり、数や図形の性質を考察したりすることができる。	事象の中の関係や法則を図や言葉の式、数式などで簡潔かつ一般的に表現でき、目的に応じて式変形し、解を求めたり、数や図形の性質を考察したりした結果の妥当性を説明できる。
		数学的推論								
		コミュニケーション		○	○					
数学的な表現・処理	内容知	数学的な表現・処理などの技能(手続き的知識)	○	○	○	式を計算したり、方程式を解いたりしたとき、正答率が55%未満である。	55%以上の正答率で、計算したり、方程式を解いたりすることができる	65%以上の正答率で、計算したり、方程式を解いたりすることができる	75%以上の正答率で、計算したり、方程式を解いたりすることができる	85%以上の正答率で、能率的に計算したり、方程式を解いたりすることができる
数学的な概念(宣言的知識)		○		○	数量や式に関する基礎的な概念や原理・法則などについて55%程度未満しか理解されていない。	55%程度以上数量や式に関する基礎的な概念や原理・法則などについて理解し、知識を身につけている。	65%程度以上数量や式に関する基礎的な概念や原理・法則などについて理解し、知識を身につけている。	75%程度以上数量や式に関する基礎的な概念や原理・法則などについて理解し、知識を身につけている。	85%程度以上数量や式に関する基礎的な概念や原理・法則などについて理解し、知識を身につけている。	